

◆ 2022 年度 活動 報告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 つるがしま里山サポートクラブ

25A-40

代表者：代表理事 小澤 邦彦

URL : <http://www.satoyamasupport.com/>

1. 活動が必要とされた状況

当クラブは設立後 20 年目を迎えることができた。この間、設置してきた各種機材の老朽化、補修部品の購入などが必要となっていた。また、子どもたちの自然学習活動に役立つように、樹林地に樹種名札を設置することが求められた。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- 樹林地内の危険な枯れ木の伐採や除草を五味ヶ谷、太田ヶ谷で実施した。

〈実施時期〉10 月～2 月 7 回

〈参加人数〉会員延べ 82 名

- 密集した竹林の竹間伐

〈実施時期〉12 月 25 日

〈参加人数〉会員 21 名、市民 116 名

〈活動内容〉竹林の間伐を兼ねての門松づくり

- 子ども達の自然学習

栄小学校 5 年生、藤小学校 3 年生の自然体験学習で、ハンマーモアによる除草作業の実演を行った。

- 樹種名板の製作と設置

樹種名板の製作方法を変更して取り組み、市民の森に設置することができた。

〈実施時期〉10 月～2 月

〈参加人数〉会員延べ 30～40 名、

〈活動内容〉樹種名板を制作し、市民の森に設置。



3. 活動の成果

コロナ禍の中で継続的な活動を維持でき、新たな会員増加も見られた。

新たな活動範囲が拡大してきたが、機材の更新により除草作業の効率が向上し、活動面積の拡大に対応できることとなった。併せて、市民の森に樹種名板が設置され、市民の森の自然学習効果が高まることを期待したい。本年度、彩の国埼玉環境大賞優秀賞をいただいた。ご支援いただいた方々のお陰と感謝している。

4. 今後に残された課題

- ① 会員の高齢化：市民の森の維持管理・植樹に必要な会員確保が課題となっている。
- ② 活動範囲の拡大：小中学校からの自然体験学習の協力要望が増えてきた。各種イベント要員の拡充が求められる。
- ③ 活動回数の増加：管理緑地が 4ヶ所となり、市民の森など 15ha の維持管理が必要で、地元と連携した新たな組織体制の強化が不可欠となっている。
- ④ 市、社会福祉協議会、ボランティア団体等からの協力依頼の増加など、関連団体が増加している。
- ⑤ 市民活動団体との連携体制など組織の拡充が必要となっている。